

ペットのための
**防災
ブック**



ペットを守れるのは飼い主だけです。

突然起る災害

大切な家族のための準備
はできていますか？



まずは住まいの**防災対策**を

＼特集ページはコチラ／



あたりまえかも知れませんが
災害時にペットを守るためには
飼い主であるわたしたちが無事
であることが大切です。

大切な家族との暮らしを守るために
まずはキホンの防災対策を押さえましょう。

知っておきたい
同行避難のその後



同行避難とはペットが飼い主と一緒に
避難所に避難することを言います。

覚えておきたいのは
さまざまな方への配慮のために
必ずしも飼い主とペットが同室になるとは限らない
ということです。

ペットのための 備蓄チェックリスト



大きな災害時には支援物資の到着に時間がかかることが予想されます。
ごはんや水は最低5日分（できれば1ヶ月ほど）
用意しておきましょう。
ローリングストックで備えるのがおすすめです。

C H E C K



優先
1

ペットの命と健康に関わるもの
災害時には日頃食べているものと同じものが
手に入るとは限りません。特に療法食の場合
は多めに準備が必要です。

- ☐ 薬 ☐ ごはん（療法食含む）
- ☐ 水 ☐ 食器

優先
2

ペットの情報や衛生用品
もしものときには、相手に情報をスムーズに
伝えられることが大切です。飼い主やペット
の情報がわかる手帳を準備しましょう。

- ☐ ペット手帳（飼い主の連絡先・ペットの名前・写真・
ワクチンの接種状況・健康状況など）
- ☐ ペットシーツや猫砂など

優先
3

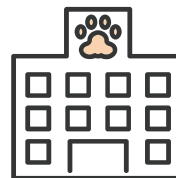
リラックスできるもの
避難が長期になると、ペットがリラックスで
きるおもちゃやケア用品があると安心です。

- ☐ おもちゃ ☐ おやつ
- ☐ ケア用品（ブラシ・ウェットティッシュなど）

POINT 平時におこなう7つの対策

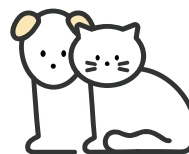
01 健康管理

災害時はペットにも多くのストレスが
かかり体調がくずれるリスクが上がります。
日頃から予防接種、ノミ・ダニの駆除
トリミングを行うなどペットの体を
清潔に保っておきましょう。



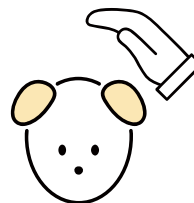
02 人と動物に慣らす

避難先では日頃接することのない人や
ペットと接触する機会があります。
散歩などを通じて人や他の動物に慣ら
しておくことで災害時のストレスを
軽減することができます。



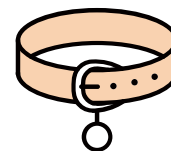
03 しつけ

犬の場合、「まて」「おいで」「お座り」「ふせ」
など基本的なことをしつけをして
おくとな脱走防止に役立ちます。
また、決まった場所での排泄をできる
ようにしておくとな他人への迷惑防止
にもつながります。



04 飼い主情報の明示

ペットと離れ離れになったときのために
鑑札や迷子札、マイクロチップを
装着しておきます。マイクロチップは
転居などで登録情報の変更があった際
には忘れずに手続きをしましょう。



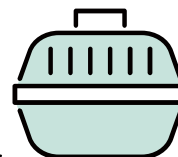
05 避難場所の確認

避難場所や、道順を確認しておくこと
で、スムーズな避難行動につながります。
犬の場合、平時の散歩コースに避難場所
を入れるのもおすすめです。



06 ケージ・クレートに 慣らしておく

災害時はペットがケージやクレートに
長い時間いる可能性があります。
入ることに慣れていないとストレス
になるので日頃から慣らしておきましょう。



07 家族や地域の方との協力

平時から家族や知人にペットの情報を
共有し、いざというときの協力を
お願いしておきます。
避難場所の選択肢が複数あると安心です。

